平成28年度 授業シラバスの詳細内容

科目名(英)	英語3(English3)			授業コード	A027702
担当教員名	清水 孝子			科目ナンバリングコード	A20307
配当学年	2	開講期	前期		
必修・選択区分	選択	単位数	2		
履修上の注意または履修条件	履修生はプレイスメントテスト(レベルチエックテスト)を受け、その結果に応じて決められた講義に出席する。課題(プロジェクト)に積極的に取り組む心構えのある学生が履修すること。				
受講心得	受け身の姿勢で授業に取り組むのではなく、課題にチャレンジするという積極的な姿勢が必要。				
教科書	*ENGLISH UPLOAD* (Robert Hickling / Satsuki Osaki著) (金星堂、1995 円)				
参考文献及び指定図書	適宜、参考図書を指示します。				
関連科目	英語1、英語2、英語4、英語5、英語6				

授業の目的	本授業の目的は、大学生にとって基本的な文法の学習を中心に基礎的な英語力を身につけてもらうことにあります。練習問題を通して、英語の4技能をバランスよく育成し、日常生活でよく使われる「英語らしい表現」を学びながら、自己表現の基礎力を習得していきます。
授業の概要	テキストの各ユニットはタスク中心の練習問題によって構成されており、練習問題をすることによって、基礎的なリスニング・スピーキング・ライティング・リーディングの4技能の力をつけていきます。毎回、各ユニットの文法を踏まえた英語の歌の聞き取りを行います。学期末には、これまでの演習で身に付けた表現を用いて、クラスで発表をしてもらいます。

○授業計画	
学修内容	学修課題(予習・復習)
第 1 週 : プレイスメントテスト	
第 2 週 : 授業説明とIce Breaking Exercise	配布資料 演習課題・解答例
第 3 週 : Unit 1 That's Ashley Brown! be動詞の現在形と過去形 & English Song	配布資料 演習課題・解答例
第 4 週 : Unit 2 Ashley, Where Are You? 命令文 & English Song	配布資料 演習課題・解答例
第 5 週 : Unit 3 Sorry Tom 現在形と現在進行形 & English Song	配布資料 演習課題・解答例
第 6 週 : Unit 4 Talk to You Later 代名詞 & English Song	配布資料 演習課題・解答例
第 7 週 : Unit 5 Lunch at Karen's Place 過去形と過去進行形 & English Song	配布資料 演習課題・解答例

第 8 週 : Unit 6 I'm Really Excited 過去形と過去進行形現在完了 ＆ English Song	配布資料 演習課題・解答例
第 9 週 : Unit 7 Here I Am 時を表す前置詞 ＆ English Song	配布資料 演習課題・解答例
第10週 : Unit 8 What Did You Make? 数えられる名詞と数えられない名詞 ＆ English Song	配布資料 演習課題・解答例
第11週 : Unit 9 I'm So Tired! be going と will ＆ English Song	配布資料 演習課題・解答例
第12週 : Unit 10 Just Relax and Have Fun 助動詞 ＆ English Song	配布資料 演習課題・解答例
第13週 : Unit 11 I'll Have Water 等位接続詞と2語で成り立つ接続詞 ＆ English Song	配布資料 演習課題・解答例
第14週 : Unit 12 A Hot Dog Would Be Great! Yes-No疑問文 ＆ English Song	配布資料 演習課題・解答例
第15週 : Class Presentation	配布資料 演習課題・解答例
第16週 : 期末試験	

授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	
	(3)アクティブ・ラーニング	「アクティブ・ラーニング科目」
地域志向科目	該当しない	
備考		

○単位を修得するために達成すべき到達目標	
【関心・意欲・態度】	ターゲットとなる文法の形や用法に関心を持つ。
【知識・理解】	ターゲットとなる文法の形や用法の理解を深める。
【技能・表現・コミュニケーション】	ターゲットとなる文法などを使って自己表現をする。
【思考・判断・創造】	現代的テーマや日本文化を扱った英文を通して、身近な日常の問題について深く考えてみる。

○成績評価基準（合計100点）			合計欄	100点
到達目標の各観点と成績評価方法の関係および配点	期末試験・中間確認等（テスト）	レポート・作品等（提出物）	発表・その他（無形成果）	
【関心・意欲・態度】 ※「学修に取り組む姿勢・意欲」を含む。		10点	10点	
【知識・理解】 ※「専門能力〈知識の獲得〉」を含む。	40点			
【技能・表現・ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ】 ※「専門能力〈知識の活用〉」「チームで働く力」「前に踏み出す力」を含む。		30点	10点	
【思考・判断・創造】 ※「考え抜く力」を含む。				

（「人間力」について）

※以上の観点に、「こころの力」（自己の能力を最大限に発揮するとともに、「自分自身」「他者」「自然」「文化」等との望ましい関係を築き、人格の向上を目指す能力）と「職業能力」（職業観、読解力、論理的思考、表現能力など、産業界の一員となり地域・社会に貢献するために必要な能力）を加えた能力が「人間力」です。

○配点の明確でない成績評価方法における評価の実施方法と達成水準の目安	
成績評価方法	評価の実施方法と達成水準の目安
レポート・作品等（提出物）	講義の中で説明します。
発表・その他（無形成果）	講義の中で説明します。